



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 806 人

医師 157 人

コメディカル 649 人

【管理栄養士紹介登録数 44人】

平成21年12月20日現在

《目次》

「年頭の所感」近藤甲斐夫先生	Page 1
研究会の実施報告	Page 2
研究会の実施報告	Page 3
研究会のお知らせ	Page 3、4



年頭の所感

当会監事 近藤医院 近藤甲斐夫

明けましておめでとうございます。

新型インフルエンザワクチン配給のドタバタさわざには、あきれるばかりでしたが、例年だとこれからが本格的流行期となるので、その有効性などを調査する大実験が始まる訳です。どちらのワクチンもしなかった人、新型だけ、又は従来の季節型だけの人、両方注射した人などがどのくらい「カゼ」をひいたとか、性差年齢差など、予想もしない結果が出るかもしれません。

糖尿病治療薬として、インクレチン関連の新しい治療薬が暮れになって発売されました。この薬も臨床の先生方が、数多くの患者さんに使ってみて、より正確な使用方法がわかってくるものと思います。よく考えてみると医師が患者さんの治療をする時は、毎日毎日が実験の積み重ねをしているようなものです。

実験といえば、患者さんからみると、とてもいやな気がするように予想されますが、膨大な数のくすりや、手段があり、患者さんひとりひとりが個別な反応をするのですから、必ずとか、絶対、ということはありません。予想外の反応があった時は、なぜそうなったのか深く考えてみることで、又そのような経験を、ひとり医師の心に残すだけでは、医学の進歩は止まってしまうので、経験する、考察（反省）する、発表する、このくり返しが、医療の進歩の大切な要素で、時に、発表することが反省や考察を更に深めることにつながるといわれています。

12月のある日、この原稿を執筆中に、理事の中野先生のご帰郷をはげます会があって、その時、医療者がいろいろと経験した医療内容をまとめて発表することがどんなに大切か、自分達の役に立っているかが、熱っぽく話題になりました。

中野先生は、特に老人の糖尿病に関する講演や学会発表を20年以上も数多くなさっており、いずれそれらを、おまとめになる考えらしいのですが、京都に帰られても、またご多忙の毎日が待っているのかと想像すると大変なことと思います。とにかく、いよいよ本年はしっかりと臨床と言う実験室で、雑念にとらわれることなく、しっかりした成果をあげて行きたいものです。大げさになりますが、何か後世に残るような仕事をめざしたいものです。



世界糖尿病デー・ブルーライトアップスカイタワー西東京

平成21年11月14日(土)スカイタワー西東京にて開催されました。

日本で一番早くブルーのライトが輝いた

11月14日の「世界糖尿病デー」、西東京地区では「田無タワー」がライトアップされました。今年は、ライトアップのカウントダウンを行う前に、市民向け講座「糖尿病を知ろう」の講演会を行いました。約100の方が参加しました。ブルーのTシャツのスタッフが雰囲気盛り上げ中、貴田岡理事長、田無タワー株式会社の功刀様より挨拶をいただきました。その後、植木の司会で吉武紀子先生からは「糖尿病ってなに？」というタイトルで、糖尿病についてクイズ形式でわかりやすいお話を頂き、西村一弘先生からは「栄養情報のウラオモテ。～食事を見直すチャンスです～」と題して、普段食べ慣れている食べ物が意外にカロリーが多かったり、食事時間と糖



尿病の話をして頂きました。

あっという間に2時間が過ぎ、いよいよ6時のカウントダウンです。全員でタワーを見上げられる、隣の多摩六郷科学館の庭に移りました。近藤甲斐夫先生のお話をうかがう中、カウントダウンが始まりました。そして午後6時、東京タワーより、ベイブリッジより早く、日本で一番早く晩秋の夕空の中に青い美しい光が点灯しました。この瞬間、世界の糖尿病と戦う人達が一つになったことに心が熱くなりました。

当会副理事長 東京医科大学八王子医療センター 植木 彬夫

第6回西東京糖尿病心理と医療研究会ワークショップ

平成21年11月28日(土)「多摩永山情報教育センター」において開催されました。

第6回西東京糖尿病心理と医療研究会を11月28日(土)の夕方から翌日曜の午前中にかけて開催しました。1日目は畑中恭子先生の「彼女と私の第3章」で始まりました。仕事をしてた時のSさんの血糖は畑中先生の治療により良くなったのですが、仕事を辞めたあと、血糖は徐々に悪化します。今後の治療をどうしようと特設外来で相談する一幕でした。2つ目は杏林大学の医学部薬剤師の小林庸子先生が自分の職場(大学)で外来のセンサーチップなどを捨てに来室する機会を捕まえて簡単に指導する場で最近コミュニケーションが取りにくくなった患者さんとの対応を皆さんに相談していました。

翌日の午前中には東京大学医学教育国際協力研究センターの大西弘高先生が北里大学の薬学教育研究センターの飯岡緒美先生と組んで「患者さんの気持ち、わかっていますか？」というロールプレイを用いたワークショップをいたしました。

1. 「癌であることを告げる医者」と「検査の結果が気になる患者」 2. 「娘の携帯のメールをたまたま見て相手に不安になって真相を聞き出したい母親」と「テレビに夢中になってあまり母親の話の聞きたくない娘」 3. 「付き合って半年、恋人に一泊温泉旅行を切り出したい彼氏」と「温泉旅行に行ってもいいかな?とは思うものの家族の手前どうしようと思う

彼女」を演じました。良い対応、悪い対応と紋切り型で判断するのではなくこういう時はどういう風に言いたくなるか、言われたいか相手の気持ちになりきり言葉を伝えるのはどうすれば良いのかを学びました。

当会会員 朝比奈クリニック 朝比奈 崇介

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会第46回例会

平成21年11月21日(土)「西東京市民会館公会堂」において開催されました。



当会理事長 公立昭和病院 貴田岡 正史

今回の例会は「糖尿病と感染症—その実態と対応策—」というメインテーマで平成21年11月21日(土)に西東京市民会館公会堂で開催しました。3連休の初日であったにも関わらず89名の参加者がありました。

近藤甲斐夫監事のご挨拶の後、東京都立府中病院の辻野元祥先生には「活動評価プロジェクトの現況と今後の展望」として現在立ち上げている直接事業および間接事業について、現時点での横断的アンケート調査結果を報告いただき、今後の展望について提言いただきました。東京医科大学八王子医療センターの大野敦先生からは「次世代育成プロジェクトの現況と今後の展望」として「アンケート結果」、「私の提案」、「グループ提案」を紹介いただき参加者の皆さんとの考える場を設けました。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野 教授 和泉雄一先生からは歯科医の立場として「歯周病と糖尿病 ～その密接な関係～」という演題で、2型糖尿病患者に対して適切な歯周治療がHbA1cを改善する可能性に触れ、インスリン抵抗性が改善されるメカニズムをわかりやすく解説いただきました。多摩センタークリニックみらいの宮川高一先生からは内科医の立場として糖尿病と感染症についての概観を示していただきました。



最後に多摩北部医療センターの中野忠澄理事より挨拶をいただき、3時間以上に及ぶ講演会は盛会のうちに終了しました。糖尿病という疾患は単に内科系ばかりではなく、他科との連携が極めて重要であり、本研究会の役割がますます重要になってきていると考えます。





研究会他のお知らせ

◆ 直接事業

◆ 間接事業

◆ 第8回 症例検討会 (※お申し込みが必要です)

テーマ：「糖尿病と精神障害」

開催日：平成22年1月19日(火) 19:00～21:05

場所：立川女性総合センターAIM 5F第3学習室

(JR中央線立川駅下車徒歩5分)

会費：1,000円

申込み：同封の申込用紙にてお申し込み下さい。

FAX番号042-322-7478

定員：会場の都合により先着40名とさせていただきます。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位



◆ 第51回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会

(お申し込みは不要です)

テーマ：「腎機能悪化を呈して子宮頸癌が明らかになった高齢2型糖尿病の一例」

「認知障害合併糖尿病の2例～そのあるべきケアは?～」

「糖尿病診療連携の会」のあゆみ

開催日：平成22年1月12日(火) 19:30～21:00

場所：多摩北部医療センター2階大会議室

(西武新宿線東村山駅からグリーンバス「多摩北部医療センター」下車)

会費：無料

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

◆ 第105回実践栄養指導勉強会 (お申し込みは不要です)

テーマ：特別講演「代謝性疾患にすすめられる油脂の取り方」

開催日：平成22年1月19日(火) 18:45～20:15

場所：緑風荘病院併設グリーンボイス1Fダイルーム

(西武多摩湖線八坂駅下車徒歩1分)

会費：実践栄養指導勉強会会員無料 非会員500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

第24回東糖協多摩ブロック糖尿病教室・第16回西東京糖尿病患者連合会特別講演会

(お申し込みは不要です)

テーマ：「糖尿病を勉強しませんか？」

開催日：平成22年2月13日(土) 14:00～16:30

場所：武蔵野公会堂(京王線 北野駅北口下車 徒歩1分)

会費：無料 ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエント'ラサ' 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

